

令和5年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和6年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	道後公園 (明治21年6月26日)(平成14年4月1日 リニューアルオープン)	所在地 電 話 H P	愛媛県松山市道後公園 089-941-1480 http://www.dogokouen.jp/index.html			
県所管課	土木部道路都市局都市整備課	指定管理者の名称	コンソーシアムGENKI			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	利用料金制	○	あり		なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民の憩い、安らぎの場とするとともに、湯築城跡を復元、保存、活用することにより中世の歴史を学べる施設として設置		施設の外観	
施設内容	主要施設 ○管理棟(資料館)1棟 271.00㎡ ○復元武家屋敷2棟 160.88㎡ ○土塁8ヵ所 約120m ○土塁展示室 57.08㎡			
指定管理者が行う業務	①運営に関する業務 ②愛媛県立都市公園条例第6条の規定による公園の利用の禁止又は制限に関する業務 ③利用の許可に関する業務 ④利用に係る料金の収受に関する業務 ⑤利用者への便宜の供与に関する業務 ⑥利用の促進に関する業務 ⑦施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ⑧その他知事が定める業務			
施設の管理体制	館長 事務長 公園管理運営チーム(公園管理士・建築士) 館長補佐(学芸員) 職員(庶務) 職員 職員(作業) サポートスタッフ			

3 検証のための指標の推移

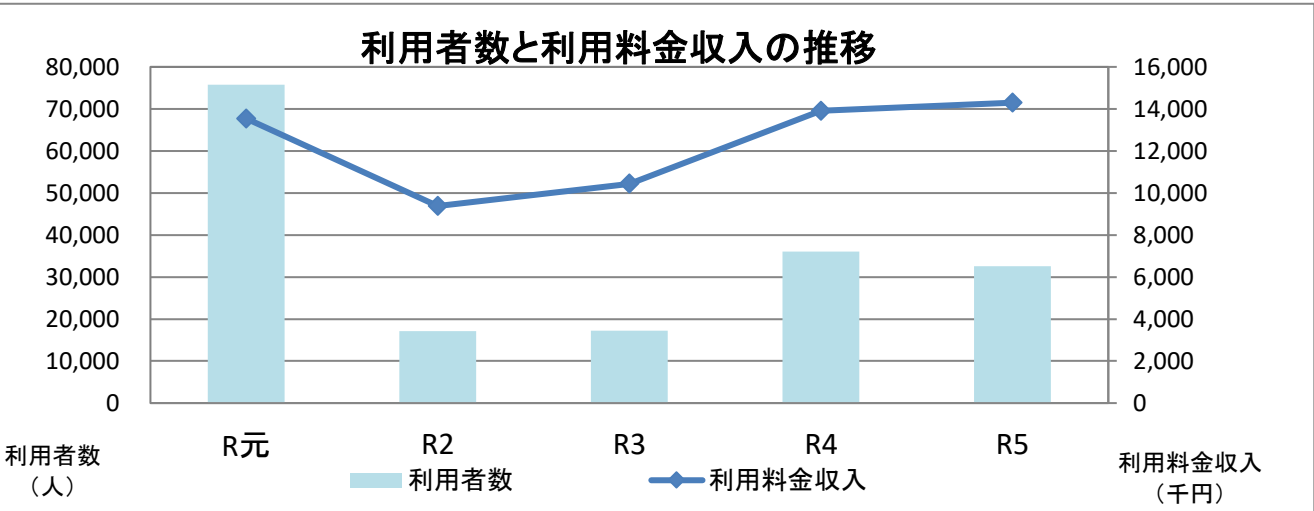
(1)利用者数

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年間利用者数	75,800 人	17,151 人	17,260 人	36,079 人	32,564 人

(2)収支状況

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 入 (A)	65,801 千円	62,372 千円	62,867 千円	66,495 千円	71,182 千円
委託料	50,813 千円	50,659 千円	50,659 千円	50,659 千円	54,943 千円
委託料(補正額)※	0 千円	1,003 千円	328 千円	0 千円	千円
利用料金収入	13,539 千円	9,379 千円	10,434 千円	13,911 千円	14,297 千円
その他収入	1,449 千円	1,331 千円	1,446 千円	1,925 千円	1,942 千円
支 出 (B)	65,321 千円	62,372 千円	62,867 千円	66,036 千円	72,840 千円
事業費	6,072 千円	1,558 千円	2,698 千円	4,357 千円	4,917 千円
維持管理費	28,372 千円	30,207 千円	30,423 千円	31,025 千円	35,520 千円
人件費	20,780 千円	20,184 千円	20,201 千円	20,575 千円	22,145 千円
その他支出	10,097 千円	10,423 千円	9,545 千円	10,079 千円	10,258 千円
収 入 (A) - 支 出 (B)	480 千円	0 千円	0 千円	459 千円	▲ 1,658 千円

(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

指定管理5年間の最終年度であり、次の5年間に向けて施設等の保守管理や植栽管理の瑕疵が無いように施設等の塗装や汚水槽の清掃、景観整備の剪定などを積極的に行った。さらに業者との管理委託料の見直しを図ったため、維持管理費が例年より2割程度増加した。また、人件費も一部見直したため1割程度増加した。

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○県施設予約システムの本格運用が昨年度末から運用され、既存の当公園利用者への告知等を行い、利便性の向上を図った。 ○県の整備した「デジタルコンテンツ」によりインバウンドに向けた多言語案内ができるようになったことに加え、愛媛県公式ユーチューブで来館前に映像を見た人に対してボランティアガイドによる案内を行うことにより、満足度・理解度の高い案内につながった。さらにVRゴーグルの利用促進のための看板設置やガイドによる案内のための研修を実施しレベル向上につなげた。 ○本年度も近隣学校の校外学習を受け入れたり、資料館の時間外開館で県外団体客の受け入れを行い利便性の向上に努めた。		令和5年度は、臨時休館することもなく、団体客の来館が増えたこともあり湯築資料館の来館者数は昨年度よりも増加した。 「デジタルコンテンツ」を利用した誘客を行いYouTubeでの案内や、現地ガイドの案内を充実させることでさらに、利便性の向上に努めている。 また、事業周知のための情報発信を新型コロナウイルス感染拡大前と同程度で行い、誘客を図った。	評 価
			S

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○史跡復元区域の土塁周りの人止めロープの張替や園内の板塀・木柵など補修再塗装を行った。 ○見通しの悪い園路等の樹木の剪定や内堀沿いの笹の除去を行った。 ○資料館内の一部残っていた蛍光灯をLED照明に交換した。 ○表示部の経年劣化が著しい遮蔽土塁の排水溝遺構について県教育委員会に相談の上、県埋蔵文化財センター・愛媛大学の協力を得て写真測量等の調査を行い、今後の維持管理の検討資料とした。		日常点検の中で建築物の不具合などを発見した際には、速やかに改善を図るように対処しており、道後公園の美観の維持に努めている。 引き続き、保守管理・点検を行うことで、利用しやすい施設の維持につなげていただきたい。	評 価
			A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

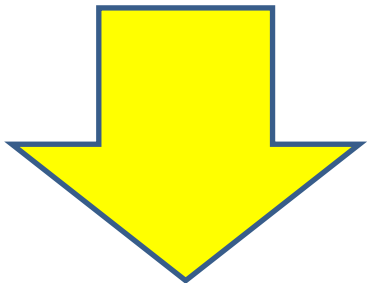
指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○利用者からの苦情や要望は、即時対応を基本とし日誌やメールで記録の上県に報告した。 ○来園者のアンケートもグーグルアンケートを活用して行った。 ・資料館の満足度 満足64% まあ満足 34% ・職員・ガイドの対応 満足84% まあ満足 16% ・清掃状況 満足66% まあ満足 32% ・樹木・草花の管理 満足66% まあ満足 28% ・トイレの数 満足44% まあ満足 48% ・駐車台数 満足30% まあ満足 42% ・遊具の種類 満足40% まあ満足 38%		昨年度に引き続きグーグルアンケートを利用したアンケート調査を行っており、利用者からの意見の収集に努めている。 利用者からの苦情に対しても、適切に対処しており、今後も利用者の声を生かしながら満足度向上を目指していただきたい。	評 価
			A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○ホームページでの情報発信や昨年度から始めたInstagramやYouTubeと連携するとともに、公園内の掲示板や情報誌・ラジオ・テレビとも連携のとれた情報発信を心掛けた。 ○愛媛/松山ミュージアム・ストリート協議会のパンフレットを活用したり、ほかの施設との連携を図り情報発信を行った。		スマートフォンに対応したホームページ、Instagramによる情報発信を開始するなどSNSを利用した情報提供を行っている。 さらに、子規記念博物館や愛媛大学の博物館実習の受け入れや出前講座など、他の施設とも共同で利用促進を図っている。	評 価
			A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括	
道後公園について、史跡公園としての歴史的・文化的価値や魅力を伝える「デジタルコンテンツ(県整備)」の積極的な活用や、自主事業として多彩なイベントを実施することで確実に誘客につなげており、湯築資料館の入場者数が前年度を大きく上回った点は高く評価できる。道後公園総入園者数はグラウンドと駐車場の利用者が減少したことに伴い、昨年度よりも減少している。 また、施設保守管理業務として、日常点検の中で道後公園の美観維持に努めたほか、昨年度に引き続きグーグルアンケートによる利用者の意見調査を行い、その結果を、施設の適切な維持管理に反映させるなど、利用者サービスの向上に務めている。 今後とも、安心して公園を利用できる施設の維持管理に務めるとともに、道後地区の観光客の呼び込みによる公園利用者数の増加も期待したい。	